

●応用生物科学部

1. 教育研究上の目的

本学部は、動植物・微生物等が営む生命現象について理解と解析能力を高め、人と環境との共生の上に成り立つ生活を真に考究し、実践出来る人材育成を教育理念としている。本理念の達成に向け、生物と化学を基礎学問に据え、講義と実験・実習さらには卒業論文実験を通じて、学力の向上と国際的研究を目指す。

2. 教育目標

応用生物科学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 動植物・微生物等が営む生命現象について理解と解析する能力を有する者。
- (2) 人と環境との共生を真の生活に活かし、社会に貢献する能力を有する者。
- (3) 修得した知識や成果を的確に表現できるプレゼンテーションとコミュニケーション能力を有する者。

3. アドミッションポリシー

応用生物科学部では化学と生物に興味を持ち、農学の知識と知恵を食料・環境・健康・バイオマスエネルギー分野で活用し、国際的な視野に立って実社会で活躍する意欲の高い人を求めている。

- (1) 高校卒業レベルの化学と生物の知識を持っている人。
- (2) 生命現象に興味を持ち、理論と技術を修得し、社会に貢献できる人。
- (3) 農業関連分野、食品・化学産業に関心あり、当該分野で活躍する意欲のある人。
- (4) 人々の健康に強い関心を持ち、豊かな人間力、コミュニケーション力を持っている人。

4. カリキュラムポリシー

応用生物化学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、総合教育科目に全学・学部共通科目、基礎科目（リメディアル教育科目）を学部として共通に配置し、各学科のカリキュラムポリシーに従った科目を設置し、以下のことに配慮しながら、教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) 広範囲な分野の教養知識と語学科目・全学共通・学部共通（リメディアル教育科目）の総合教育科目を配置している。
- (2) 各学科の専門的教育目標、ディプロマポリシーに従った学科独自の科目が配置している。
- (3) 問題の発見・解決、計画と実行力と考察・表現力を養うための卒業論文を必修科目として全学科で配置している。

5. ディプロマポリシー

応用生物科学部は人と環境との共生の上に成り立つ生活を動植物・微生物等が営む生命現象について理解と解析能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 生物と化学の基礎学問を修得している。
- (2) 各学科のディプロマポリシーを踏まえた内容を修得している。
- (3) 自主的な卒業論文の遂行を通じて協調性と倫理性を有し継続的に行動することを修得している。
- (4) 修得した知識や成果を的確に表現できるプレゼンテーションとコミュニケーション能力を修得している。